

2022年9月12日

木材業景況調査結果

第456回（令和4年8月分）

(一社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

8月は、販売量、仕入量については、流通部門、製造部門とも減少した。販売価格、仕入価格については、流通部門では変わらず、製造部門では下降した。今月は、特に製造部門での販売価格・仕入価格の下落が目立っている。

9月は、販売量については、流通部門では増加、製造部門では変わらずの見通し、仕入量については、流通部門、製造部門とも変わらずの見通しであった。また、販売価格については、流通部門、製造部門とも保ち合いの見通し、仕入価格については、流通部門では保ち合い、製造部門では弱含みの見通しである。

3ヵ月後の相場予想は、米材、北洋材（欧州材を含む）、国産材については、流通部門、製造部門とも弱含みの見通しである。また、建材は強含み予想である。今回は、建材を除きほとんどの部門で弱含みの予想となった。

8月はお盆休みと新型コロナ蔓延の影響により現場が進まず、低調な出荷となった。9月以降は大手ハウスメーカーと首都圏のビルダーからの受注が好調で、この状況は年内は続きそうである。また、非住宅物件の問い合わせも好調である。資材については、在庫不足は解消しつつある。

人件費、燃料費、電気代、資材、運賃等の高騰で大幅なコストアップとなり、木材事業者は対応に苦慮している。

景況調査

令和4年8月分集計表 () 内は実数

モニター数135 回答87 回収率64%

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加13%(11)	変わらず43%(37)	減少45%(39)
仕入量	増加10%(9)	変わらず43%(37)	減少47%(41)
販売価格	上昇9%(8)	変わらず72%(63)	下降18%(16)
仕入価格	上昇16%(14)	変わらず70%(61)	下降14%(12)

来月の見通し

販売量	増加28%(24)	変わらず54%(47)	減少18%(16)
仕入量	増加24%(21)	変わらず55%(48)	減少21%(18)
販売価格	強含み13%(11)	保ち合い71%(62)	弱含み16%(14)
仕入価格	強含み15%(13)	保ち合い74%(64)	弱含み11%(10)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	18%(12)	54%(36)	28%(19)
南洋材	24%(14)	60%(35)	16%(9)
北洋材(欧州材を含む)	13%(8)	55%(33)	32%(19)
国産材	18%(15)	51%(42)	31%(26)
建材	41%(24)	48%(28)	10%(6)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	36%(21)	51%(30)	14%(8)

〔製造部門〕

モニター数128 回答数100 回収率78%

当月の状況

販売量	増加7%(7)	変わらず51%(51)	減少42%(42)
仕入量	増加7%(7)	変わらず47%(47)	減少46%(46)
販売価格	上昇4%(4)	変わらず69%(69)	下降27%(27)
仕入価格	上昇7%(7)	変わらず63%(63)	下降30%(30)

来月の見通し

販売量	増加26%(26)	変わらず55%(55)	減少19%(19)
仕入量	増加21%(21)	変わらず59%(59)	減少20%(20)
販売価格	強含み6%(6)	保ち合い71%(71)	弱含み23%(23)
仕入価格	強含み10%(10)	保ち合い68%(68)	弱含み22%(22)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	15%(5)	41%(14)	44%(15)
南洋材	22%(5)	57%(13)	22%(5)
北洋材(欧州材を含む)	0%(0)	31%(10)	69%(22)
国産材	14%(13)	38%(36)	48%(45)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	24%(10)	60%(25)	17%(7)